

世界緑茶コンテスト2018審査結果

(公財)世界緑茶協会は、お茶の消費拡大を目的に、斬新でお茶の未来を感じさせる商品を提案する「世界緑茶コンテスト」を毎年、開催している。

本年は国内外から70点の出品があり、8月23日、24日に審査会を実施して、最高金賞・金賞・パッケージ大賞・フロンティア賞・奨励賞を決定した。

1 出品点数

国・地域名	出品数	内 訳					
		リーフ	ティーバッグ (ドリップ式含む)	固形茶	顆粒	ドリンク	区分違い セット
日本	43	23	14	-	2	2	2
中国	15	12	-	3	-	-	-
台湾	3	2	1	-	-	-	-
韓国	4	2	1	1	-	-	-
トルコ	3	1	2	-	-	-	-
インドネシア	2	2	-	-	-	-	-
計	70	42	18	4	2	2	2

2 審査概要

(1) 審査員

(国研)農研機構果樹茶業研究部門 角川茶業研究監を審査員長に、茶商工業者、試験研究、デザインの専門家など8人。日本人6人、中国人1人、フランス人1人。

(2) 審査基準

商品性：①コンセプト・名称、②パッケージデザイン、③コストパフォーマンス
品質：④香気、⑤味

(3) 審査会場 ふじのくに茶の都ミュージアム（静岡県島田市）多目的ホール

3 入賞結果

賞の名称	点数	日本		海外			
			静岡県	中国	台湾	韓国	
最高金賞	8	5	4	3	1	2	-
金賞	16	7	6	9	8	-	1
パッケージ大賞	1	1	-	-	-	-	-
フロンティア賞	1	1	1	-	-	-	-
奨励賞	1	1	-	-	-	-	-
計	27	15	11	12	9	2	1

4 審査講評

コンセプトが明確でメッセージ性のある商品への評価が高かった。香りに特徴のある新たな製法を取り入れた緑茶や外国人のための多言語表記を取り入れた商品が見られた。また簡便に飲めるお茶の品質（香り、味）が向上しており、新たな需要の創造と消費拡大につながる事が期待される。

5 今後の予定

表彰：調整中（今秋実施予定）

展示：8月25日に審査会場で出品茶体験会を開催。国際的な食品見本市や、各種セミナーなどで展示を予定。